

GICU で胸腔ドレナージを受けられる患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	リアルタイムエコーガイド下胸腔ドレナージの安全性の検討 (集中治療室で胸水を抜くための胸腔ドレナージは、これまでエコーを使用せずに行われてきました。エコーを用い針先を確認しながら行う方法で従来よりも安全に胸腔ドレナージを行うことができるかを研究します。)
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	麻酔科 助教 中村健人
研究の対象となる方	2018年4月から2025年12月までにGICUで胸腔ドレナージを受けた患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2027年3月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 集中治療室で呼吸困難がある患者さんに、安全に胸腔ドレナージを行うことを目的としています。 〔利用方法〕 胸腔ドレナージ前後で、呼吸状態を確認できるように検査(血液検査、胸部レントゲン、CTなど)をしたり、呼吸状態を表す値などを記録しています。この検査や記録などは、研究に関わらず通常の集中治療管理を安全に行うためにしているものです。検査や記録は診療録(カルテ)に保存されているので、その内容を研究のために利用します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から年齢、性別、既往歴、血液検査、胸部レントゲン、CTなどを収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当

試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026 年 2 月 28 日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 麻酔科 担当者：助教 中村健人 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311（内線 37703）